

情勢報告（平成 25 年 11 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

J A 津野山ハナニラ部会の栽培勉強会



J A 津野山ハナニラ部会栽培勉強会が 11 月 1 日に開催され、6 名の生産者が参加しました。

振興センターからは、栽培暦をもとに今後の栽培管理について、県農業技術センター山間試験室からは、施肥や定植本数に関する現地試験の結果について説明しました。生産者は今後の栽培の参考としました。

J A 津野山シシトウ部会が甘とう交流会へ参加



J A 津野山シシトウ部会の甘とう生産者 7 名が 11 月 11 日に南国市で行われた甘とう交流会に参加しました。

現地栽培は場では、生育の状況やそれに合わせた栽培管理について研修しました。振興センターは、津野山地区の今後の栽培に活かせるように整枝や誘引などについて生産者と検討しました。

生産者からは、津野山地域が実施している V 字仕立ての整枝について他地区の事例が勉強になったという意見がありました。

J A くろしおインゲン部会出荷始め総会



J A 土佐くろしおインゲン部会の総会が 11 月 19 日に開催されました。

総会では、園芸連から販売概況が報告され、J A からは出荷計画や販売取り扱い要領、農薬の適用拡大について説明がありました。

振興センターからは、温度管理や収穫・かん水管理について今後のポイントを説明しました。生産者は理解を深めた様子でした。

J A くろしおきゅうり部会出荷始め総会



J A くろしおキュウリ部会の総会が 11 月 15 日に開催されました。生産者は 65 名の参加がありました。

総会では、平成 25 園芸年度の販売実績報告、平成 26 園芸年度の計画などについて J A から説明がありました。振興センターからは、本園芸年度に実施する防虫ネット試験に合わせて、キュウリ黄化えそ病対策を資料をもとに説明し生産者に対策を再確認してもらいました。

振興センターでは黄化えそ病診断結果を J A 指導員と共有し、早期防除対策の徹底を引き続き生産者へ指導していきます。

J A土佐くろしおの直販店が農薬使用履歴記帳を開始



J A土佐くろしお所管の3つの直販市が農薬使用履歴記帳の説明会を開催しました。

10月24日の「J A土佐くろしお多ノ郷女性部くろしお市」と「かわうそ市」の説明会には103名、11月14日の「みのり市」には42名の生産者が出席しました。

会では、農薬使用履歴簿への記入方法や履歴簿の配布、回収方法について事務局のJ Aから説明を行いました。振興センターからは、この取り組みを推進する組織「須崎・津野山・中土佐地区農産物直販所安全安心ネットワーク」の目的や生産者が担う役割について説明しました。

各直販店は、説明会の趣旨を理解しそれぞれ1ヶ月の試行期間を経た後、農薬使用履歴記帳を本格実施します。

JA 土佐くろしおハウスシシトウ部会の現地検討会



11月7日にJ A土佐くろしおハウスシシトウ部会の現地検討会が開催されました。例年より1ヵ月早い開催でしたが、多くの方が参加されました。

検討会では、ほ場の栽培管理について営農指導員の説明の後、振興センターからは光合成やシシトウの生理等についての説明や、現地ほ場で行っているIPM等の試験内容と途中経過を報告しました。

基本技術等について再確認したことで、整枝方法や今後の管理について生産者の間でも意見交換がなされ、活発な現地検討会となりました。